

資生堂、「気候変動」「水セキュリティ」分野において、
CDP より最高評価の A リスト企業に選定
～「気候変動」分野は 3 年連続、「水セキュリティ」分野は初の選定～



資生堂は、国際的な非営利団体である CDP より、「気候変動」および「水セキュリティ」分野の透明性とパフォーマンスにおけるリーダーシップが認められ、2024 年度の A リスト企業に選定されました。「気候変動」分野では 3 年連続、「水セキュリティ」分野では初の選定となりました。

当社は、企業使命である「BEAUTY INNOVATIONS FOR A BETTER WORLD(美の力でよりよい世界を)」のもと、2030 年に向け、「美の力を通じて人々が幸福を実感できるサステナブルな社会の実現」を目指しています。

豊かな地球環境と持続的な事業成長の両立に向けて、環境課題解決の前提となる「環境方針」を掲げ、事業に伴う環境負荷を軽減するため、バリューチェーン全体を通してさまざまなステークホルダーとともに取り組みを推進しています。2030 年に向けては、Scope 1・2・3 で CO₂排出量削減目標 (Science Based Targets) を設定^{※1}、2050 年までにはネットゼロを目指しています。また、事業における電力の再生可能エネルギー100%切り替えを目指し、国内外の自社サイトにおける再生可能エネルギーへの切り替えを加速させています。さらに、事業活動の自然への依存および影響の評価とともに、生物多様性の喪失や水資源の動態などについて定量的な長期リスクと機会を特定し、分析結果を「資生堂 気候/自然関連財務情報開示レポート」^{※2}として開示しています。

CDP について

CDP は、企業や自治体の環境情報開示のための世界的なシステムを運営する非営利団体です。2000 年の設立以来、142 兆米ドルを超える資産を持つ 700 以上の金融機関と協働する CDP は、資本市場と企業の購買力を活用することで、企業が環境影響を開示し、温室効果ガスを削減し、水資源や森林を保護する取り組みを先導してきました。2024 年には全世界で 24,800 社を超える企業が、CDP の質問書を通じて環境情報を開示しました。また、CDP は TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) に準拠した質問書に基づく世界最大の環境データベースを有し、CDP スコアは、ネットゼロ、持続可能でレジリエントな経済を構築するために、投資や調達の意思決定に広く活用されています。

※1 詳細は企業サイトの「サステナビリティマネジメント」ページをご覧ください：<https://corp.shiseido.com/jp/sustainability/management/>

※2 資生堂 気候/自然関連財務情報開示レポート：https://corp.shiseido.com/jp/sustainability/env/pdf/risks_report.pdf

資生堂のサステナビリティ：<https://corp.shiseido.com/jp/sustainability/>

資生堂サステナビリティレポート 2023:

<https://corp.shiseido.com/sustainabilityreport/jp/2023/pdf/sustainability-report-jp.pdf>

CDP ウェブサイト(英語)：<https://www.cdp.net/en>